

平成 24 年度 事務事業事後評価調書 (平成 23 年度事業)

整理番号 14 - 4

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名	消防施設整備事業										
評価者	担当課名		消防	担当係名		警防係					
	管理職	職名	支署長	作成者	職名	係長					
	氏名	高見 雄二		氏名	佐藤 和幸						
事業の概要	町民の生命、身体及び財産を火災等から保護し、災害による被害を軽減することを目的に、昭和48年に紋別地区消防組合消防署雄武支署が設置され、以後消防施設の機能を充実するため、維持管理、整備及び更新を行っている。					全体計画					
						(平成 20 年度～ 24 年度)					国・道支出金 千円
						事業費	地方債 千円				
							その他 千円				
							一般財源 20,764 千円				
					事業費計 20,764 千円						
実施方法	■直営		民間委託	その他 ( )							
第5期総合計画(前期)			■登載事業	非登載事業	優先度	B					
事業の位置付け	政策目標	4	うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～								
	基本施策	19	消防・救急・防災体制の強化								
	単位施策	3	消防・救急体制の充実								
	事務事業の種類	■自治事務	法定受託事務								
	その他計画・根拠等	消防法、消防力の基準、救急業務実施基準									
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)					
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円					
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円					
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円					
	雄武町負担額	2,919 千円	千円	7,907 千円	2,205 千円	7,200 千円					
合計	2,919 千円	千円	7,907 千円	2,205 千円	7,200 千円						

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	職員、町民		望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)		
【抱える課題やニーズは】	消防施設の老朽化等		消防施設の老朽化による設備整備及び更新 指標(指標計算式／解説) 目標値及び実績値		
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	消防施設を維持管理、整備及び更新することにより、防災拠点としての機能を充実させる。		①・受電設備整備 ・発電機整備 ・排水工事	目標年度 平成23年度 目標値 別記5 実績値 別記5 達成度	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果＝目的	消防業務が総合的に強化され充実することにより、町民の安心、安全が保たれる。		②・機械室ドア改修工事 ・1分団詰所改修工事 ・地下タンク廃棄工事 ・消火栓購入事業	目標年度 平成24年度 目標値 別記5 実績値 別記5 達成度	
内 容(どのような手段で何を行ったか)					
排水工事	適当な積算に基づき、可能な限りコストの削減に努め、工事をした。				

### 3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

<b>必要</b>	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	防災拠点としての消防施設及び機能は常に正常な状態に維持管理されなければならないため、施設の整備は必要である。
必要／概ね必要／課題あり	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

<b>有効</b>	<b>設定した目標値の達成</b>	
有効／概ね有効／課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	消防施設の機能が適正に維持管理されることにより、消防力が維持され、消防業務を円滑に行える状態が保たれている。

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

<b>効率的</b>	<b>判断の理由</b>	
効率的／概ね効率的／課題あり	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	適切な積算に基づき、可能な限りコスト削減に努め、工事ができた。

(4)事務事業の公平性

<b>公平</b>		
公平／概ね公平／不公平	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益者が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	受益者負担に馴染まない。 ※市町村の消防に要する費用は当該市町村がこれを負担しなければならない(消防組織法第8条)

### 4 総合評価(A～D)

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適當 等
- B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評議会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
消防施設整備は計画どおり進んでいる		

今後の展開方向  
(Action)

<b>継続／現状維持</b>		
今後も、消防施設の整備、更新は必要である。		

\* 展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了
- 休止
- 廃止

### 5 その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

20年度 受電設備整備 100%	24年度 機械室ドア改修工事予定
22年度 発電機整備 100%	第1分団詰所改修工事予定 地下室、外壁等改修工事予定